

ヒメネズミ

背側がこげ茶色でアカネズミによく似ていますが、アカネズミより小さく体重は最大でも 26g 程度です。尾が長く、頭と胴体を足した長さ（頭胴長）よりも長いのが特徴です。

森林で生活し、長い尾でバランスをとれるので木登りが得意で、地上 10m 以上の高さでも枝から枝へと活発に動きまわり、木の上で活動することが多いです。

コガネムシやガだけでなく、ハエなどの動きの速い虫まで、素早く捕えて食べます。木の上に食べ物が少なくなる冬には、落ち葉の下にある種や越冬中の幼虫や蛹を見つけだして食べています。

子供を産む回数は、北海道では夏中心の 1 回、広島では春と秋の 2 回、九州では秋の終わりから春の初めまでの 1 回です。静岡県内では場所により夏の場合や春と秋の 2 回子供を産むことが分かっています。



富士市での現状

低い土地から高い山まで広くいると言われていて、極相林（きょくそうりん）の特徴である落葉・落枝が厚く積もっている場所を生息地としています。富士市内では確認記録が少ないですが、やや高い土地でしか確認できていません。

ヒメネズミを確認したメッシュ

